

「デジタルふるふる君」(THE467-DRX)

取扱説明書

1. はじめに

弊社製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。本取扱説明書は大切に保管してください。

2. 使用上のご注意

本品の使用にあたっては、使用上の注意を守りお使いください。

2.1 本体の取り扱い

本体を投げたり落下させたりしないでください。故障の原因になります。

製品の分解、改造はしないでください。保証対象外となります。

2.2 乾電池

本品にはアルカリ単4乾電池をご使用ください。

使用後は必ず電源をお切りください。また、長期間使用しない場合は、電池を取り外して保管してください。

2.3 電池蓋

電池蓋は電池交換時以外には取り外さないでください。電池蓋を外す際は、水分や汚れを取り除いてください。内部に水分や異物が入ると、故障の原因になります。

電池蓋を取り付ける際は、蓋の両端をしっかりと押し本体との間に浮きや隙間のないように確実に閉じてください。

2.4 ボタン操作

本取扱説明書に記載されている“1秒間長押し”とは、ボタンを1秒以上3秒未満押すことを指します。“3秒間長押し”とは3秒以上押すことを指します。

3. 機器の構成

本体 THE467-DRX	1台
アルカリ乾電池(単4)	1本
ヘルメット取り付けクリップ (溝付ヘルメット用)	1個
取扱説明書(本書)	1枚

4. 操作パネルの説明

4.1 操作ボタンの名称と機能



写真1 操作パネル

- * 操作パネルには保護シートが貼り付けてあります。セロテープ等をパネルの隅に軽く貼り引き上げれば簡単に剥がせます。

ボタン名	基本操作と機能
【POWER】	3秒間長押しで電源 On/Off
【MODE】	3秒間長押しでモード設定を有効/終了 *有効にすると【MD】が緑色点灯し【UP】【DOWN】で設定が可能になります。 *【MD】点灯時に3秒間長押しすると設定が終了します。
【UP】 【DOWN】	1秒間長押しで選択内容を確認し次の設定に移行 *設定モードはチャンネル設定、振動設定、ユーザコード設定の順に遷移します。
【UP】 【DOWN】	待受時は音量設定 【MD】緑色点灯時はチャンネル選択 【MD】黄色点灯時は振動のOn/Off設定 【MD】赤色点灯時はユーザコード変更を表します。

表1 ボタンの機能と基本操作

「デジタルふるふる君」(THE467-DRX)

取扱説明書

4.2 LED 表示の説明

LED の点灯色および点滅間隔で下表の内容を示します。

LED 名	表示内容
【PW】	電源 On 時 5 秒周期の緑色点滅
	受信時 1 秒周期の緑色点滅
	電池電圧低下時* 1 秒周期の赤色点滅
【CH】	【MD】 緑色点灯時 チャンネル番号を表示 白色 Ch1 赤色 Ch2 紫色 Ch3 黄色 Ch4 緑色 Ch5
	【MD】 黄色点灯時 振動の有無を表示 白色 On 赤色 Off
	【MD】 赤色点灯時 ユーザコードを表示 消灯 0 白色 1 赤色 2 紫色 3 黄色 4 緑色 5
【MD】	緑色 チャンネル設定 黄色 振動設定 赤色 ユーザコード設定

表 2 LED 表示の内容

* 電池電圧低下時にはバイブレータが 10 秒間振動します。

5. 初期設定

本機は 467MHz デジタル簡易無線 全 65 チャンネルを受信できますが、通常使用時の操作を簡便にするため、そのうちの連続する 5 チャンネルをあらかじめ設定する必要があります。

設定は下記に従い先頭のチャンネル番号を指定してください。

受信チャンネル初期設定の方法

- ① 電源 Off 確認
- ② 初期設定モードに入る
【UP】【DOWN】を押した状態で【POWER】を 3 回押す。
設定モードに入ると【PW】が 0.5 秒間隔で黄色点滅する。
- ③ チャンネルの 10 の位を設定する。
【UP】【DOWN】で 0~6 のいずれかを選択する。【MODE】を 1 秒間長押しすると選択した値が確定し【PW】が 1 秒間隔の黄色点滅に変わる。
- ④ チャンネルの 1 の位を設定する。
【UP】【DOWN】で 0~9 のいずれかを選択する。【MODE】を 1 秒間長押しすると確定する。
- ⑤ 設定終了
【POWER】を 3 秒間長押しすると設定が終了し電源が切れます。

数値は表 3 の LED 表示色の組み合わせで表しています。

数値	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
【CH】	白		緑			赤			黄	
【MD】	緑	緑	赤	黄	緑	赤	黄	緑	赤	黄

表 3 LED 表示色と表示値

6. 使い方 (初期設定後)

6.1 電源を入れる。

【POWER】 ボタンを 3 秒間長押しすると電源が入りセルフテストを実行します。

機器が正常な場合、LED 表示色、スピーカーからのトーンが 1 秒ごとに 7 回変化し、最後にバイブレータが 1 秒間作動します。その後 5 秒間は設定されている受信チャンネル番号 (表 4) を表示し、テスト・シーケンスが終了します。最後に【PW】が点滅し機器の使用が可能になります。これら一連の動作に異常がないか確認のうえ機器をご使用ください。

チャンネル番号	1	2	3	4	5
【CH】	白	赤	紫	黄	緑
【MD】	緑				

表 4 LED 表示色とチャンネル番号

6.2 各種設定

必要に応じ受信チャンネル、バイブレータ On/Off、ユーザコードを設定します。設定は電源投入後 一回だけ行えます。設定終了後にふたたび設定を変更する場合は、一旦電源を切り再度電源を入れてから行ってください。

なお、設定作業中に 30 秒以上ボタン操作がなかった場合は自動的に設定作業を終了し受信待受状態に移行します。

6.2.1 受信チャンネルを選択する。

初期設定で設定した 5 チャンネルの中から受信チャンネルを選択します。

最初に【MODE】 ボタンを 3 秒間長押ししてください。【MD】が緑色点灯し【UP】

【DOWN】 ボタンでチャンネル番号の選択が可能になります。表 4 に従いチャンネル番号を選択してください。選択後に

【MODE】 ボタンを 1 秒間長押しすることで設定が確定し 6.2.2 項 バイブレータの On/Off 設定に移行します。6.2.2 以降の設定変更が不要な場合は【MODE】 ボタンを 3 秒間長押しすることで設定を終了できます。

6.2.2 バイブレータの On/Off を設定する

前項 6.2.1 を終了すると【MD】が黄色点灯に変わりバイブレータの On/Off 設定が可能になります。

【UP】【DOWN】 ボタンで設定し、【CH】が白色点灯時は On、赤色点灯時は Off です。設定後に【MODE】 ボタンを 1 秒間長押しすることで設定が確定し 6.2.3 項の設定に移行します。6.2.3 項以降の設定が不要な場合は【MODE】 ボタンを 3 秒間長押しすることで設定を終了できます。

なお、バイブレータの設定は保存されません。電源を切ると再投入時にはバイブレータ On になります。

6.2.3 ユーザコードを選択する。

ユーザコードは、他局の同一チャンネルの電波を受信しても鳴らなくするための機能です。ユーザコードを“0”以外に設定すると、コードが一致しない電波は鳴りませんので、通常は“0”に設定しご使用ください。コードの設定は下記に従って設定してください。

6.2.1 項および 6.2.2 項を終了すると【MD】が赤色点灯し【UP】【DOWN】 ボタンでユーザコード番号の選択が可能になります。ユーザコード番号は表 4 の【CH】表示色を参照してください。【CH】消灯時はすべてのユーザコードの無線機を受信できません。

【MODE】 ボタンを 3 秒間長押しすることで完了します。再度 6.2.1 項から設定確認/変更を行ないたい場合は 1 秒間長押ししてください。

なお、本機ではユーザコードは 0～5 の範囲で設定できます。6 以上のコードは設定できませんのでご注意ください。

6.3 電源を切る

【POWER】 ボタンを 3 秒間長押ししてください。確認のトーンが鳴り電源が切れます。

「デジタルぶるぶる君」(THE467-DRX)

取扱説明書

7. ヘルメットへの装着

付属のヘルメット取り付けクリップをヘルメットに取り付けてください。

写真2のように取り付けクリップとヘルメットの間隙に本体の上下フックのツメがロックする位置まで挿入します。ヘルメットに本体が固定していることをご確認のうえご使用ください。



写真2 ヘルメットへの装着

*ヘルメット装着クリップを破損、紛失した際は、(株)トーヨーセフティー No.88-OK ゴーグル用クリップの使用を推奨します。

8. おもな仕様

項目	仕様
周波数	467.0000MH~467.4000MHz *デジタル簡易無線(免許局)
変調方式	4値FSK
電波の型式	F1D、F1E
チャンネル数	65ch
アンテナ	内蔵タイプ
スピーカー出力	0.1W
バイブレータ	受信時5秒間
電源	単4型アルカリ乾電池1本
使用時間	7時間以上(話中1:待受4の比率で動作したとき)
電圧低下警報	【PW】LED赤色点滅 およびバイブレータ振動10秒間
使用環境	温度:-10~50℃ 湿度:90%RH以下(結露なきこと) 防塵・防水:IP65相当
外形寸法	70(H)*48(W)*17(D)mm
重量	40g(電池含む)

表5

9. 音声圧縮方式について

本製品は、米国DVS社の開発したAMBE(Advanced Multi-Band Excitation)方式を採用してAMBE+2TMに対応しております。本方式は、DVSI社の知的所有権として保護されています。

The AMBE+2™ voice coding Technology embodied in this product is protected by intellectual property rights including patent rights, copyrights and trade secrets of Digital Voice Systems, Inc. This voice coding Technology is licensed solely for use within this NXDN Communications Equipment. The user of this Technology is explicitly prohibited from attempting to extract, remove, decompile, reverse engineer, or disassemble the Object Code, or in any other way convert the Object Code into a d d : human-readable form. U.S. Patent Nos. #8,595,002, #8,359,197, #8,200,497, #6,912,495 B2, and #6,199,037 B1.